

4. 大堀相馬焼 松永窯（福島県広域）

～オープンイノベーションを活用した新しい概念の産地・仕組みづくり～

① 取組背景・地域課題	② 支援体制				
● 窯元が被災地から各地へ離散したことで、横の連携が取りにくく、各窯元が各地で個別最適化した再興を進める状態となっており、地域・関係者が一丸となった産業・地域活性化に取り組めていない。 ● 売上や担い手を増やすための取組を始めているが、地域全体の総意として行われていないため、仕組みとして定着せず、新しい担い手参入の機会損失となることが予想される。	<table><tr><td>コーディネーター (支援事業者)</td><td> ・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社 </td></tr><tr><td>外部専門家 連携団体等</td><td> ・ 会津大学 ・ 一般社団法人WAZAtoBA ・ 伝統工芸品または工程の分業化に精通している専門家 等 </td></tr></table>	コーディネーター (支援事業者)	・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社	外部専門家 連携団体等	・ 会津大学 ・ 一般社団法人WAZAtoBA ・ 伝統工芸品または工程の分業化に精通している専門家 等
コーディネーター (支援事業者)	・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社				
外部専門家 連携団体等	・ 会津大学 ・ 一般社団法人WAZAtoBA ・ 伝統工芸品または工程の分業化に精通している専門家 等				

③ 本事業の目的と取組内容

大堀相馬焼の伝承を家業から新たなシステムに切り替え、
時代に即した伝統工芸の繁栄の土台をつくる

取組① 担い手増殖に向けた地盤づくり	取組② 大堀相馬焼継承のガバナンスの確立	取組③ 「伝統工芸品」でのキャリアのオープン化
⚡ 大堀相馬焼の製造工程を再整理するとともに、担い手増殖に取り組んでいる他業種の事例・仕組みを調査 ⚡ (共創イベント) 新規参入や分業制を活用することで、家業の継承であった大堀相馬焼において、担い手が確保しやすい仕組みを検討	⚡ (共創イベント) 焼き物や塗り物などの伝統工芸に関係する方など、多様な参加者を集めて、担い手のキャリアステップが見える化する仕組みを検討 ⚡ 見える化の仕組みについて、既存の窯元も含めてのブラッシュアップと合意形成	⚡ 新たに作り出す大堀相馬焼のキャリアの見える化モデルを、担い手不足に悩む全国の伝統工芸へオープン展開 ⚡ 担い手から見た場合の必要要素も考慮し、これからの「伝統工芸品」に求められる受け入れ体制の提言等を整理
● 製造工程の再確認と担い手増殖の取組事例・仕組みの調査 ● 大堀相馬焼への新規参入方法・分業方法の検討 ● [KPI] 他業種の調査（5業種以上） ● [KPI] 共創イベントの参加者（25名）	● 見える化の原案策定・ブラッシュアップ ● 見える化案の導入に向け、合意形成 ● [KPI] 原案策定会議開催（2回以上）	● 担い手確保を軸にした伝統工芸の受け入れ体制、情報の見える化のロールモデルを作成 ● 提言のとりまとめ ● [KPI] ロールモデル・提言を外部発表

※ 本事業の支援対象は「大堀相馬焼」全体となりますが、代表して「大堀相馬焼 松永窯」がエントリーしています。